

茄子作遺跡等における発掘調査の成果について（令和8年1月27日現在）

・楠葉中之芝遺跡第98次調査

（共同住宅建設に伴う発掘調査）

期間：令和7年5月20日～9月26日

調査面積：約500㎡

概要：平安時代初め～室町時代初め

（8世紀末～14世紀）頃にかけてと

推定される建物（掘立柱建物13棟）、

井戸、溝からなる町の一面を確認。

井戸SE6からは井筒に使われた羽釜

が出土。（写真2）



写真1 調査区全景(西から)



写真2 井筒に使われた羽釜

・茄子作遺跡・茄子作下浦遺跡

【公益財団法人大阪府文化財センター調査協力】

（土地区画整理事業に伴う発掘調査）

期間：令和7年7月～令和8年6月末(予定)

調査面積：約15,000㎡(計15か所)



写真3 窯跡箇所全景

概要：古墳時代中期の初期須恵器窯3基を

確認。その他に弥生時代後期及び古墳

時代中期の竪穴建物数棟、飛鳥時代の竪

穴建物・掘立柱建物、柱列を確認。

備考：窯跡が見つかった調査区については、

令和7年11月8日に現地説明会開催。

市民約550人が参加。



写真4 出土した初期須恵器

・中振北遺跡第8次調査

（駅前再開発事業に伴う発掘調査）

期間：令和7年8月8日～12月26日

調査面積：361㎡

概要：平安時代後期～室町時代頃にかけてと推定

される建物柱穴・井戸が密集した中世の「中

振町」の一面を発見。

備考：令和7年11月1日に現地説明会開催。市民約300人が参加。



写真5 現地説明会の様子

その他の報告



光善寺駅西地区再開発事業のマンション建設工事用フェンスに貼られた中振北遺跡発掘調査成果説明板



中振北遺跡発掘調査成果説明板(近景)